

ユズリハ だより

メール air-tokyo@herb.ocn.ne.jp

56号

2013.1.20(56)
 東京公害患者と家族の会
 文京区小石川5-34-12
 アピタマツモト2F
 TEL03-5802-2170 FAX03-5802-2377
 ぜん息110番
 03-5840-8446

昨年中は患者のみならず、あおぞら連絡会・弁護団、その他たくさんの方のみなさまのご協力のおかげで、新たな救済制度創設に向けて少しずつ進んで来ております。今年は今まで積み重ねてきた成果を活かすべく、より一層の努力をいたします。今年もよろしくお祈りいたします。



総行一月十一日(金)公害
 八個人が参加した。七十四の団体
 抱負を語り合いました。今年十
 被害者・支援者・弁護士・
 が主な参加者ですが、公害
 被害を受けたアスベスト・汚染
 水俣病・アスベスト・汚染汚
 害被害等)の方・環境汚
 染により生活の基盤を奪
 われた(川辺川・有明海

再生を願う漁民等)の
 方々と多様です。
 わつた。昨年から総行
 者の皆さんにはこれか
 生活の基盤のみならず健
 被害の可能性も高く深刻
 な被害を受けておられま
 す。これらを支える立
 向かう被害者・学
 者・ジャーナリストのみ
 労働団体のみな
 さんも参加されました。

新春 公害団体合同 旗開き



写真の紹介
 上が水俣病訴訟原告団。斜め上段が福島原発被害者。下段がアスベスト訴訟原告・弁護団。下が我ら大気全国患者会です。



代表による鏡割り、左端が清水鳩子さん

予定とお知らせ

- 1月
 26日(土)三役会議10:00~
 中野杉並支部学習会13:30~
 港区道路環境見学バスツアー13:00~
 30日(水)「新たな救済制度創設」
 国会議員要請14:00~
 31日(木)東京社保協総会10:00~
 2月
 2日(土)世田谷支部新年会16:00~
 3日(日)患者会合同幹事会13:30~
 4日(月)太田支部新年会13:30~全国事務局会議
 5日(火)事務局会議15:00~
 6日(水)健康づくり委員会13:30~トヨタ交渉
 7日(木)弁護団会議10:00~
 8日(金)品川支部(準備会)会議14:00~
 風の会「TPP問題」学習会プラザF13:30~
 11日(祝)トヨタ総行動(愛知県豊田市)13:00-14
 日(木)認定制度問題委員会13:00~
 16日(土)みなまた病シンポジウム/プラザF13:00~
 19日(火)第5回道路問題連絡会13:00~弁護団会議
 20日(水)豊島支部会議14:00~
 23日(土)三役会議10:00~
 渋谷現地調査13:00~
 26日(月)あおぞら連絡会第4回理事会
 (患者会幹事さんは出席してください)
 文京シビックセンター4B 18:30~
 3月
 2日(土)豊島支部総会新春の集い10:30~
 3日(日)全国幹事会(大阪)10:00~
 4日(月)あおぞら叙任理事会14:00~
 5日(火)弁護団会議10:00~
 6日(水)全国大気連13:00~
 9日(土)患者会合同幹事会13:30~
 10日(日)総行動会議10:00~17:00~

トヨタ総行動のお知らせ

日時 2月11日(祝)7:30集合
 場所 新宿西口 明治安田ビル前
 13:00~山の手公園での集会・デモ行進

愛知県豊田市のトヨタ自動車本社へ
 向けて新たな救済制度の財源負担と公
 健法認定患者の補償費の財源である、
 自動車重量税廃止を阻止するための行
 動です。

風の会 学習会

参加希望者は事務局へ

TPP問題について
 TPPて何? 自由貿易? 食の安全は?

日時 2月8日(金)13:30~
 会場 四谷プラザエフ3階

ミナマタシンポジウム

『すべての被害者救済』
 はなされたのか

~水俣病特別措置法を問う~

日時 2月16日13:00~15:15
 場所 四谷プラザエフ9F会議室

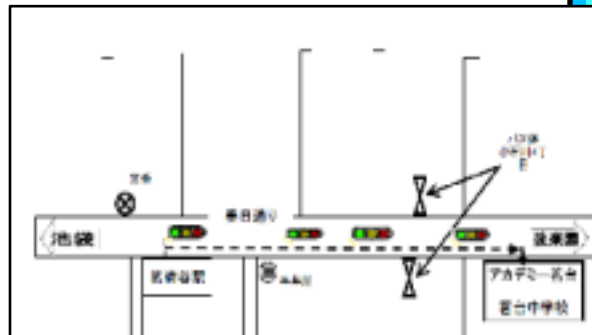
被害者への不当な線引き、救済範
 囲を狭める等の問題について。
 患者の生の声を聞いてみよう。

原告団・患者会合 同総会のお知らせ

(会場地図)

日時 2013年3月31日(日)13:00~

場所 アカデミー茗台
 レクリエーションホール



茗荷谷駅から徒歩15分
 駅前バス停留所から2つ目小石川4丁目下車

患者会の支部活動報告

文京支部

「今年の抱負」

今年も昨年にも増して激動の年になりそうです。先般の幹事会でも確認しました。気が持ちは新に「初心に戻って」前半六ヶ月をフルスピードで、かつ力強く駆け抜けねばなりません。

みな体力は少し落ちても気力は以前にも負けません。山積み課題に向かっ全力を結集しましょう。



下右が文京支部長 向田さん・松井さん
上が上野さん・比留間さん・月安さん

支部のテーマ

西会長の退院と現場への復帰
二月十七日(日)支部の成功
総会の成功
会員数の拡大
スリーピング会員の家族への接触
関連団体との密な連携



左から豊島支部長福島さん・中野杉並支部清水さん・広瀬さん・世田谷支部長武井さん・練馬支部進藤さん

中野・杉並支部

中野・杉並支部はJR中央線をはさんで東西にまたがる地域で広く2区が合併した支部です。

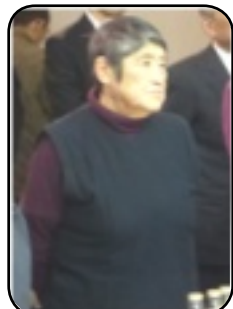
かつては山の地域といわれ、みどり豊かな地帯から除外されました。しかし最近では、環6、環7、環8、青梅街道、新青梅街道、甲州街道、東八道路など幹線道路に大型車が溢れ、排出される「排ガス」で、大気は汚染され、呼吸器疾患が増加傾向にあります。

豊島支部報告

豊島支部は都内で唯一運行している、都電荒川線の鬼子母神前からほど近い鬼子母神診療所に通う患者のみなさんが多く所属しています。

「東京大気汚染公害裁判」一次原告だった古株の患者さんと都の医療費助成認定を受けて入会した患者の皆さんが一体となって活動しています。

一月の幹事会で話題になったのは、昨年十二月に行われた「泊バス旅行」についてでした。「私は毎年参加したいと思っブで行かれない。でも、皆と一緒に日帰りでも良



豊島支部 小澤さん

足立支部報告

新しい年おめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

昨年は都条例・新しい救済制度・公健法をつぶさないでと、運動をして来ましたが、新しい仲間を迎えることもできました。仲間も増えて、喜びと淋しさも感じた一年でした。

今年も小池(足立)の医療機関から患者会足立支部に出向で事務局を務めておられました。さん退職後、柏葉さんが新しく事務局に入ってくださいました。



足立支部長 鈴木さん

先日柏葉さんの奥様が医療費の請求にビックリ、東京在住でないのに、新しい救済制度の必要性を強く感じたことでした。



左が足立支部 村岡さん隣は新しい事務局の柏葉さん

北支部

今年の抱負

らなかつた会員の一人ひとりに語り継いで、私たちが被害者は決してこの様な悪い政治を許さないぞという、強い気持ちで行動し闘ってゆきたいと思



右が北支部長の小柳さん
左は桐ヶ岡班の門井さん

全国患者の会 連合会幹事会報告

本部のお世話になりたい。都条例患者は八十歳半ば以上が大半をしめるが、医療費無料は何としても存続させたい。

この運動の先輩の後に、十二月末に「呼吸訓練」の研修をやった。

今年も当面講師を招いて学習会を重点的にやり、今後の生活に役立てて行くことと思ひます。

一月二十日(日)二十一日(月)の二日間、全国患者の会連合会の幹事会が開かれました。

会場は一日目が川崎患者会会議室(写真下)二日目は新宿の公害センターで討議されました。

議題は公健法認定患者の生活補償費の財源である自動車重量税廃止問題・国に新たな救済制度創設を求めて、その他についてです。

幹事会で討議された直後、自民党税制調査会と

「公害健康被害補償法」があるから、東京のぜん息治療費無料制度も勝ち取ることであります。

患者が自らの被害を訴え、大気汚染の解消と被害者救済を求め、これからは国に求める新たな救済制度の実現にも意欲が湧き

後日談になります。自動車重量税廃止反対を与党税調に訴えて全国患者会は、年明けから5回の国会要請をしました。

東京患者会これから
の主な行動

- 地域医師会要請
- (現在獲得25医師会)
- 国会要請
- (環境委員を中心に)
- 署名の積み上げ
- (東京はあと約1万筆)
- 総会準備 (3月31日)



大田支部 今年思うこと



大田支部長 和田さん

都条例・公健法と並々ならぬ努力が必要であり、試験が試される年でもあります。

これまででも正念場は何度も乗り越えてきました。大気公害裁判の解決するまでの状況等々、もう一度思い描いてみて、原告としてあの裁判に加わ

北支部では「公健法」の患者は裁判の後も患者会を引っ張ってきたが大半は七十歳後半、九十近くなつた。

長いぜん息治療で副作用も出て、いくつも治療を抱えてしまっている。

体の弱りと共に記憶力もうせて、日常間違えがないよう懸命に努力している。

会計など事務的なことは出来るだけ努力するが、

「公害健康被害補償法」があるから、東京のぜん息治療費無料制度も勝ち取ることであります。

患者が自らの被害を訴え、大気汚染の解消と被害者救済を求め、これからは国に求める新たな救済制度の実現にも意欲が湧き

「公害健康被害補償法」があるから、東京のぜん息治療費無料制度も勝ち取ることであります。

患者が自らの被害を訴え、大気汚染の解消と被害者救済を求め、これからは国に求める新たな救済制度の実現にも意欲が湧き

「公害健康被害補償法」があるから、東京のぜん息治療費無料制度も勝ち取ることであります。

患者が自らの被害を訴え、大気汚染の解消と被害者救済を求め、これからは国に求める新たな救済制度の実現にも意欲が湧き